

# 地 域 連 携 だ よ り

彦根市立病院  
〒522-8539 滋賀県彦根市八坂町1882番地  
TEL : 0749-22-6050(代)

問い合わせ先 彦根市立病院 地域医療連携室  
TEL : 0749-22-6053 FAX : 0749-22-6093

いつもありがとうございます

## 地域を守る救急医療

救急センター所長  
吉川 浩平

日頃は地域連携にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

彦根市立病院救急センターは3つの役割をもちます。1つ目は湖東医療圏の救急医療体制の基幹病院としての役割です。重症度、傷病の種類、年齢によらずすべての救急患者を診療するER型救急医療を実践しています。年間約21000人の診療をおこない、4300台の救急車と10機のヘリコプターの受け入れを行っています。特筆すべきは救急車の受け入れ率です。消防からの受け入れ要請に対し、実際に診療した応需率は99.6%を誇ります。CPA患者の診療も年間110件あります(数字はいずれも平成30年度実績)。これらを可能にするため内科系、外科系1名ずつの日当直に加え、循環器内科医の24時間院内待機をはじめとする各科待機制度をとり、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、事務職員も24時間体制を敷いています。

第2は湖東医療圏におけるメディカルコントロー



ルの基幹病院としての役割です。救急現場から医療機関へ搬送されるまでの間、救急救命士がおこなう医行為を指示、指導、助言ならびに検証して、それら医行為の質を保証します。さらに救急救命士の院内実習をおこなうことで、病院前救護の質の担保、向上を図っています。

最後は局地災害発生時の受け入れ病院としての役割です。多数傷病者が発生する事故や集団食中毒等の局地災害が発生した際、近隣医療機関だけで対応することが困難な場合があります。このような場合、いち早く搬送医療機関を決められるよう県内10か所の災害拠点病院が受け入れ可能状況を即時に発信し、情報共有するシステムが構築されました。当院もその一員としての役割を担っています。

「防ぎえた死」をなくすよう日々全力を尽くしています。今後ともご理解ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

# 24時間の救急医療体制



## ◆救急当番・当直体制

平日8:30~17:15

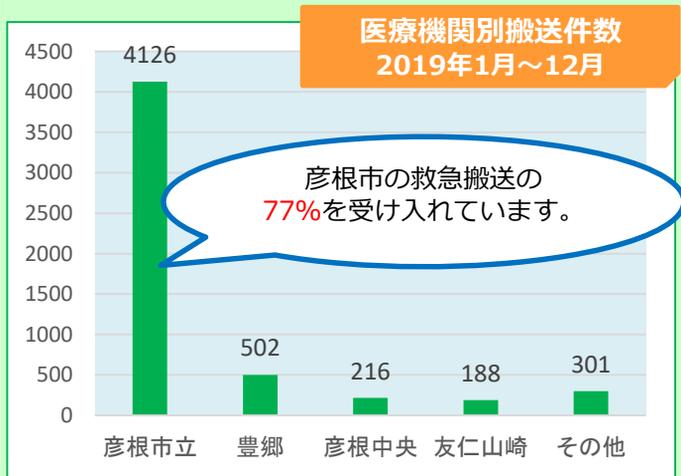
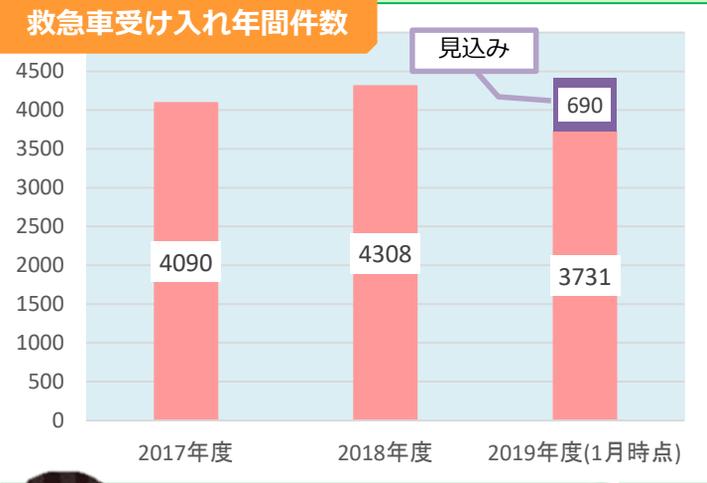
平日17:15以降・休日

内科	各科 午前・午後 1名ずつ当番医師を決め 対応しています。
循環器科	
消化器	
小児科	
外科	
整形外科	
脳外科	

内科系 1名	外科系 1名
内科系・外科系の当直以外に ICU当直や循環器科・小児科は院内待機医師もおり、 適宜相談できる体制をとっています。	

当院の救急外来では、救急外来専属の救急医がいないため、各診療科の医師が持ち回りで救急対応をしています。平日11時までの時間内のウォークインであれば、該当する科の外来で専門的な診療・検査を行います。平日でも11時以降の受診は、緊急性がない場合は症状緩和の処置を行い、翌日の外来受診を案内しています。

専門性の高い診療を  
受けていただくためにも、  
平日11時までのご紹介を  
よろしくお願いいたします。



当番・当直医師はウォークイン患者さんの診察だけでなく、救急車搬送の患者さんも診察しています。当院への救急搬送数は4000件/年以上で年々増加傾向にあります。現在の救急医療体制を維持し、今後も適切な救急医療が提供できるようご協力をよろしくお願いいたします。

## ◆消防との連携

救急外来では、消防と連携することでよりスムーズな救命や診療が行えるよう、毎年共同で症例検討会を開催したり、日常的にも救命士の研修の受け入れをしています。症例検討会では、「重症外傷を対象とした症例」や「除細動の処置が有効で社会復帰に至った症例」など毎回テーマを決め、消防、救急看護師がそれぞれ対応した場面をまとめ発表しています。発表後は、お互いに助言や改善点など意見交換を行い、今後の症例に活かしていくことや、モチベーションの向上につなげています。

# 「迅速」かつ「適切」な救急患者対応

## 救急受け入れ状況

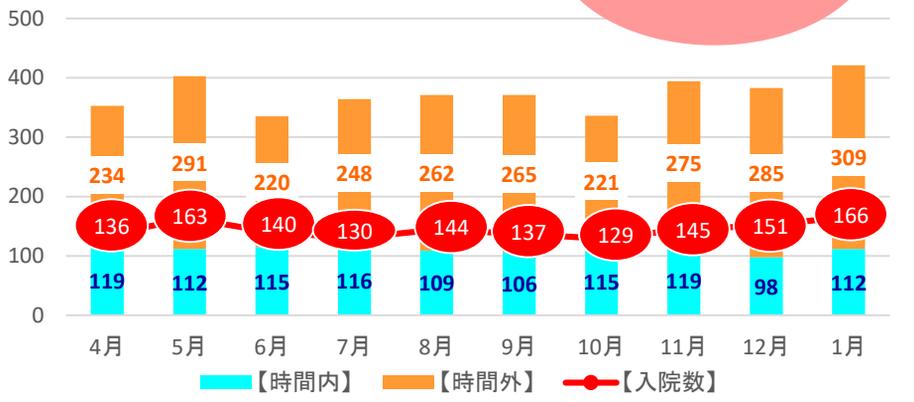


搬送患者のうち  
38.6%が入院

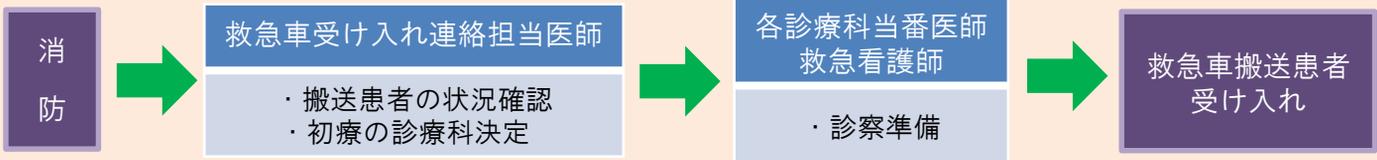
### 救急車・ヘリ搬送

彦根市の消防から救急搬送された患者さんの70%は当院に搬送されます。消防からの搬送依頼があれば、情報をもとに受け入れ準備を整え、より適切に迅速に患者対応できるよう心がけています。患者到着後は、救命士から病院到着までの情報を得て、患者や本人への問診、本院での受診歴などを参考にしながら初療・検査を行い、診断・治療をします。初療は救急センターで対応しますが、状態の安定化が図れれば中央処置室へ移動し次の救急搬送患者を受け入れられるよう環境を整えます。中央処置室へ移動後も、観察や処置を継続できるよう中央処置室とも連携しながら診療を行っています。

2019年度  
救急車・ヘリ搬送患者数と入院件数



### 【救急車受け入れまでの流れ】

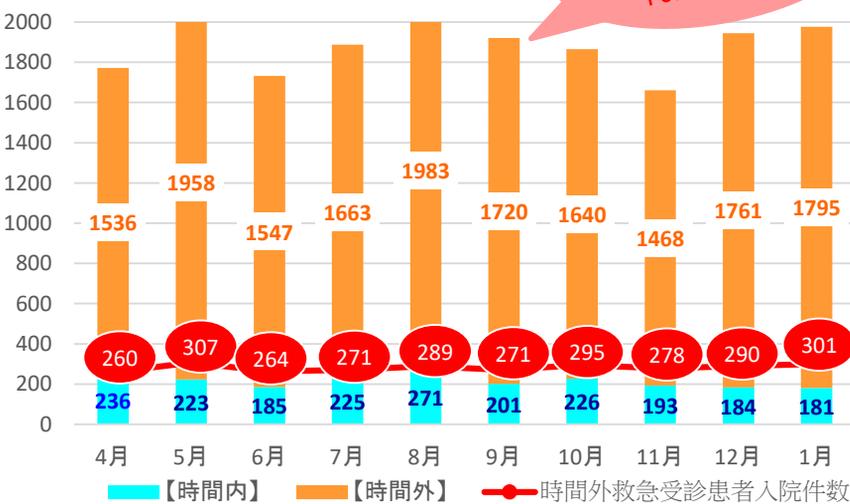


## ウォークイン救急受診



時間外救急受診  
患者のうち  
16.6%が入院

2019年度  
ウォークイン救急受診患者数と入院件数



外来時間外(平日11:00以降と休日)のウォークイン患者さんは、基本的に救急外来で診療を行っています。救急受付で問診表を記載してもらい、看護師によるトリアージをもとに診療科を決定します。トリアージの状態によっては、診療の順番の変更や、看護師の判断で緊急心電図を行うなど、緊急性のある患者さんに早期に対応できるよう努力しています。特に夜間や休日は、患者数が多く診療が混み合うこともありますが、緊急性の高い患者さんを見逃さないようトリアージに力を入れています。一般外来でもトリアージは行われており、トリアージで早急な対応が必要と判断されれば、一般外来から救急センターへ患者を搬送し対応しています。

### 【ウォークイン救急受診来院から診察までの流れ】

